

第3回連合総研「日本の未来塾」塾頭挨拶

連合総研理事長 古賀伸明

第3回「日本の未来塾」にご参加の皆さん、大変ご苦労さまです。

昨年の12月にこの未来塾をスタートして以降、新型コロナウイルスの感染拡大によって日程を変更せざるをえなくなりました。本来であれば、5月に本日お招きの田中理事長にご講演をお願いする方向で調整していましたが、延期を余儀なくされました。田中理事長にはこの場をお借りし、改めて心よりお詫び申し上げます。

依然として、警戒を続けなければならない状況にあり、今回の未来塾も Zoom を使った Web 開催にさせていただいています。今回は、コロナ禍にあっても、激化する米中対立、そして、アメリカ大統領選挙が近づいているという中での国際情勢について、日本総研・国際戦略研究所の田中理事長をお招きし、ご講演いただくことになっています。田中理事長、大変ご多用のところ、本当にありがとうございます。

田中理事長は、外務省入省後、数々の重要なポストを歴任、2002年より外務審議官を務められ退官後も様々な分野でご活躍されており、2010年10月に現職、(株)日本総合研究所 国際戦略研究所理事長に就任されています。余談じみて恐縮ですが、私も連合会長時代よく出演しましたBS放送・民放の報道番組で田中理事長と外務省同期の、これまた連合会長時代お世話になりました藤崎元米国大使、宮本元中国大使と3人のディスカッションを全てとはいきませんが、興味深く楽しみに見聞きしています。

ヒト・モノ・カネ・情報が一瞬にして国境を超えるグローバル化の時代、新型コロナウイルスの感染拡大は、グローバル化がリスクをも瞬時に国境を越えることを、私たちにまざまざと見せつけました。同時に、グローバル化は物理的に機能不全となることも知りました。言うまでもなく、私たちが働き・暮らすこの日本社会は、世界の動きを無視することは出来ず、いや、むしろ世界の中での日本を常に意識し、様々なグローバルでの事象を自分に引き付けて考えることが益々重要になっています。

そんな視点も含めて、本日は、田中理事長のご講演で、是非、知見を深めてほしいと思います。なお、この未来塾の目的の一つに、塾生同士のネットワーク

づくりがありますが、コロナ禍の状況が続く中で、連合総研としても、何らかの形で工夫して対応できないのか、検討していくことも申し上げ、ご挨拶いたします。